

## 会 議 名

令和5年度 第5回 生活支援事業連絡会

開催日時	2023年9月20日(水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第2会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略) きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 にし包括：久野氏 ひがし包括：金子(記録)
議 事 内 容	
<p>1. 第1層協議体について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料5、他資料(大田社協の新規事業)に基づいて説明。協議体で提案内容として予定。</li> </ul> <p>2. 応援ブックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10月末まで原稿提出。男女比アイコンもデータに張り付けて提出する。</li> <li>集会施設の情報確認も行う。確認後、市へ報告を行う。</li> </ul> <p>3. 「お金の管理」啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回、10/26(木)、東センターにて開催。</li> <li>集会室A・Bも押さえることができた。会場はいこいの部屋とどちらがよいか、寿楽会とひがし包括にて相談を行う。当日の受付、設営等の協力依頼も併せて行う。</li> <li>啓発チラシ、民生委員配布分を各包括へおおむね100部ずつ渡せることになった。追加分については、使用目的・必要部数を市へ報告の上相談が可能。</li> <li>公民館との連携について貫井北分館、I氏と相談。「若者による自主講座」(学芸大院生)とコラボ。朗読劇「さちどんどん」に関心を持ち、11/26(日)北分館にて演劇を行う。脚本のみなみ包括、Y氏も参加予定。にし圏域の開催分としてはどうか。</li> <li>ひがし包括：9/15町会主催敬老会に招かれた際に、ひがし包括職員で朗読劇による啓発活動を行った。終了後、「娘と話してみます」とお声を頂いた。</li> <li>きた圏域啓発活動(きた・M氏より報告)2月開催について：緑分館改修工事により1.2月使用不可。きた包括内で検討し、2月開催の桜町オレンジカフェとのタイアップを希望。土曜の開催となるが、きた包括複数職員の出勤体制があり、オレンジカフェ常連参加がいるため、集客もみこめる。開催場所も桜町病院、戸塚ホールを予定し、認知度ありアクセスも良いため。2/17(土)午後の開催可否について、市で持ち帰りとなる。</li> </ul> <p>4. 地域活動情報交流会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11/20(月)、13:30~萌え木ホール 各圏域5名程度の参加要請をする。</li> <li>前回は薬剤師の参加があり、盛り上がった。</li> <li>にし包括：本町住宅 集会室で保育園児とボッチャで交流を行った。</li> </ul> <p>5. お元気サミットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11/8(水) 14:15~15:30 生活支援 小ホール</li> <li>10/26(木)開催の朗読劇を行う。</li> </ul> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出張スマホ相談会を活用してほしい。</li> <li>各圏域より報告： <ul style="list-style-type: none"> <li>(みなみ)4サロンのリーダー交流会(2層協議体)を実施。交流をきっかけに他のサロンに参加をしたりする、事前にアンケートをとり、テーマを決めている。3ヵ月毎の開催。</li> <li>(きた)：2層協議体「ないまぜの会」で、梶野町町会の自主防災組織立ち上げの支援を実施。「ないまぜの会」による町会の夏祭り開催の手伝いをきっかけに、町会役員以外から防災組織の担い手を発掘することができ、臨時理事会での協議につながった。</li> <li>(にし)：ファシリ連絡会に出向し、顔合わせを行う。地域の担い手の発掘につなげたい。</li> <li>(ひがし)：おぎの家さくら体操自主グループ立ち上げ。補助金申請に難航したが、承認が確定。活動費不足分について2層協議体で会費制の導入に至っている。立ち上げ時はさくら体操担当と連携、以後、さくら体操担当が主にフォローを行い、必要時に相談対応を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	
次回開催予定 生活支援連絡会 10月18日(水) 14時~以上	

会 議 名	
令和5年度 第6回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2023年10月18日(水) 14:00～16:00
開催場所	本町暫定第1会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏(敬称略) きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 ひがし包括：金子氏 にし包括：久野(記録)
議 事 内 容	
<p>1. 第1層協議体から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の活躍する場について以下の団体に聞き取りをお願いしたい。 シニアSOHO、ラクビット、翁味会</li> </ul> <p>男性が多く活躍している、世代交代等が上手くいっているところから、どうしてうまく活動ができているか、どのようなきっかけで男性が入ってきているのか、その要因について聞き取りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、他の団体については、もっと男性を増やしたいと思っている、男性の社会参加が必要等の声があるのか情報を集めてほしい。</li> <li>・聞き取った内容は、活動、会議報告の中に記載。</li> <li>・「個別課題提出の統一化」については11月以降に市から回答予定。それまでは今まで通り。</li> <li>・みなみ圏域で実施している「サロン連絡会」で今回の協議体で提案した場づくりを実施する。(まずはモデル的に)</li> </ul> <p>2. 応援ブックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から資料「令和5年度応援ブック分類早見表」を検討。</li> <li>・大分類としては3項目(①運動 ②趣味・教養 ③交流の場)とした。</li> <li>・中分類の内容変更も含め後日市から修正版送付あり。</li> <li>・セキュアファイルを包括へ送付。今月末までに市へ返送する。</li> </ul> <p>3. 「お金の管理」啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月26日(木) ひがしセンターにて実施予定。別紙当日タイムスケジュールを確認。</li> <li>・12月21日(木) にし圏域分として、きたまちセンターで実施予定。朗読劇については3パターンの脚本から選択することに。市民参加できる方へ出演依頼をお願いしたい。</li> </ul> <p>4. 地域活動情報交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各包括から3名程度の地域活動者を募ってほしい。</li> </ul> <p>5. お元気サミットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援は11/8(水)</li> <li>・集合時間13時45分。当日のリハーサルはなし。立ち位置の確認のみ。ポッチャ終了後、会場の準備。</li> </ul> <p>6. サブスタッフ養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブスタッフ養成講座が始まり、10月6日から各介護事業所で講座が始まっている。養成講座の受け入れ介護事業所から第10講についての講師依頼が来ると思うので、対応をおねがいしたい。 後日ワークブックのデータを各包括へ送付する予定。</li> </ul> <p>7. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市実施のスマホ講座で各包括のラインQRコードを受講生に実際に読み込んでもらってはどうか?とみなみ包括より提案あり。了承され各包括のポストカード(QRコード付き)40枚を市に提出する。</li> <li>・本日10月26日(木)の朗読劇の練習を市民の方交えて行う。</li> <li>・各圏域での地域の困りごととしてCOCOバスのルート変更について、何か話を聞くことがあれば市へ報告してほしい。</li> </ul>	
次回連絡会 11月15日14時から	

会 議 名	
令和5年度 第7回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2023年11月15日(水) 14:00～16:00
開催場所	本町暫定第1会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏（敬称略） きた包括：松村氏 ひがし包括：金子氏 にし包括：久野氏 みなみ包括：吉田氏（記録）
議 事 内 容	
<p>1. 応援ブックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各包括からのデータについて、大・中の分類順並べ替えや各包括で齟齬がある分類について統一など修正中</li> <li>印刷業者入札に入る。業者が順当に確定すれば、1月から2月の納品を予定。</li> <li>業者に入稿し第一稿が上がり次第、各包括にデータ送付。各包括にて原稿チェックをする段取り予定。</li> </ul> <p>2. 地域活動情報交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加集約状況：サブスタッフ6名 ボッチャ指導4名 その他参加7名（現時点） みなみ包括/サブスタッフI氏の申込1件。一般はサロン連絡会などに参加案内するが現在反応なし にし包括/社協さくら体操への案内は、現在組織体制構築中につき見送り</li> <li>引き続き声がけし、直前まで参加受付とする。</li> </ul> <p>3. 個別課題抽出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1層協議体配布『資料4』をもとに情報共有</li> </ul> <p>No.92/ペット関連課題(体調を崩した時に預け先が無いなど) ⇒にし包括：①犬・猫の愛護団体をいくつか把握している（社協会長の保護猫活動など）。また、にし圏域にある『みながわ動物病院』ボランティア的な預かり対応をしてもらったことがある。※次回、にし包括の把握情報を連絡会で共有</p> <p>No.47/徘徊GPSサービス使い方がわかりづらいCMより ⇒CMに使い方の周知をお願いできないか。老々介護増加により、スマホを使って探索する方法がわからないという現状を確認している。GPS事業とみまもりあいアプリ事業の担当係が高齢福祉係と包括支援係で違う。 ※次回、介護福祉課の同IT事業についての担当を確認し報告。</p> <p>No.90～104/大分類：情報について ⇒終活や不安などの相談、総合相談として対応できている。 ※ちょっとした困りごととして洗い出しの資料としている為、生活の不便や不安事例を引き続きピックアップしていくため、これら情報も困りごととして蓄積していくことを要する。</p> <p>No.36/ごみ対策課フォードドライブ事業⇒資料配布情報共有</p> <p>No.40/まごころサービスなどの家事支援等自費対応について ⇒ヘルパー事業所の自費で事足りているケースもある。まごころサービスはつくば観光ブランドがあり地元企業の安心感があり、勧めやすく利用しやすい。担当係からその他自費対応業者として『家工房』資料配布情報共有。</p> <p>その他/ネットスーパーの携帯からの注文方法が分からない利用者への注文操作支援について ⇒スマホの機種ごとで操作方法の違いもあり手間取ることがあった。</p> <p>その他/COCOBAS利用について ⇒申請の際、保険証代わりとなる暫定証明書が使えなかった。などがあった・・・みなみ包括：介護保険更新申請時にCOCOBAS乗車時に必要な添付しなくて良いか、認定係に問合せたことあり『認定通知と介護保険証が届いたときに旧介護保険証の回収し、市への返却でOK』と確認。 COCOBASは一層協議体で話題になっており、引き続き移動支援の課題として抽出して欲しい。</p> <p>4. 情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きた包括：Cook123 宅配弁当。配達時に一緒にカタログで食品・日用品の買物が出来るサービスがある</li> <li>にし包括：犬・猫の愛護団体情報⇒詳細は次回連絡会にて共有</li> </ul> <p>包括支援係：共有資料配布⇒ごみ対策課のフードドライブ、家事支援など『家工房』</p>	

## 5.「お金の管理」啓発について

- ・東センター開催について⇒観客 24 名(内、市への事前申込 11 名) 出演スタッフ等 10 名  
集客はひがし包括で 300 枚程度チラシ配布。
- ・お元気サミット⇒観客 36 名程度
- ・今後の集客について／対象、周知方法など  
⇒対象の子ども世代 (50 代、60 代) にも参加してもらいたい。  
⇒CM 経由で情報提供、市職員組合など労働組織へ周知、企業で行われる認サポ講習時、マンション管理組合、家族会、さくら体操・・・などの意見有り。  
※次回開催地、貫井北センター開催時は平日の午後であり、当事者の子世代を対象とするのは難しい。

## 『過去 3 回の啓発朗読劇の振り返り』

みなみ： お元気サミットではボッチャ隊の方から自分も出演したかったとの声があった。今回の企画で終わらず、啓発朗読劇を引き継いでくれるグループができれば、今後の各種テーマにも活かせるのでは。

し： 東センターの振り返りで、参加夫婦から財産を老後寄付したい、どうしたらよいかとの話を参加全員で聞いた、朗読劇をきっかけにそれぞれの考えを聞くことで各自が考える場になった。

きた： 平日開催で現役世代をターゲットにするのは難しい。

オレンジカフェを毎月開催している経験上、45 分以上の時はトイレ休憩を入れると良い。休憩の間、観た内容を自分で消化すること、参加者同士で話し合うことが可能になる。劇を楽しんでいただくこと以上に、お金の管理について啓発することが目的。参加者同士が話し合うことが大切。

- ① 劇を見るだけでなく、考えて話す場にする。
- ② 互いの事について話すなど交流する時間を作る。
- ③ テーブルごとにグループを作り、対面で着席し、グループ内で話しやすくする。
- ④ 休憩中にチェックシートを書いてもらい、後でテーブルごとにどんな話題になったか聞いて回るなどの工夫をするとよいのでは。

ひがし：東センター開催はお隣さんカフェ開催日と重なった。また、今後、同じことを第二回、第三回とやったら集客はさらに落ちると思う。朗読劇という手法は伝えやすさや解り易さとしてよかった。

## ・12/21 貫井北センター開催について／案内チラシ

⇒今週中に交換便で送付、データはメールで各包括へ送信。各包括公式 LINE にて周知する。また開催まで日があるため直前に LINE で再度周知を行う。

## 開催スタイルについて

⇒今回はグループテーブル形式、休憩時間で参加者が話をする時間を作る。

## 周知・集客について

⇒周知は市民参加：松風会、T 氏の活動繋がりを期待。定員 20 名で前回は申込無しで飛び込み参加も多かったので当日参加も席があれば受け入れる。

## 5.その他

## 次回朗読劇練習

シナリオ⇒時間・場所設定、配役など、貫井南センターVer に改定して、各包括にデータ送信。

各自、加筆修正があれば赤字にしてみなみ包括へ戻す。※加筆修正後のものを最終版にする。

次回連絡会 12月20日(水) 14時から 本町暫定第2会議室  
15時20分から、市民参加を交え朗読劇練習 ※翌日が本番